

和歌山への提言-元気で思いやりのある町にしよう

姚 琴

(中国・交換留学生・浙江師範大学)

江戸時代に御三家の紀州徳川家が治める紀州藩の城下町として栄えた和歌山は、この先だんだんと元気を失っていく傾向があると思う。もし本当にそうなるとしたら、残念なことだと思わずにはいられない。



和歌山は素晴らしい自然に恵まれている。「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されており、またきれいな紀ノ川も千年以上流れている。海にも近いし、温泉も多くある。それに美味しい食べ物もいっぱいある。しかも大阪（関西国際空港）に近いから、交通が不便なのは問題にならない。立派な観光都市になる条件も揃っているのではないか。実は、この前授業で配ってもらった「和歌山県観光マップ」を取り出して見てみたら、和歌山にもこんなにたくさん面白そうなところがあるんだということが分かったのである。和歌山に来てまだ半年も経たない外国人の私が詳しく知っているはずがないが、埼玉県出身の日本人の知り合いにも聞いたら、やはり知らないなという答えだった。宣伝不足なのかと思ってしまった。たくさんの人にアンケートや調査などをしたわけでもないし、相手の知識や関心なども関わっているので、絶対そうだとは言えない。つまらない話だらけだが、まず言いたいことは、この地域の自然や文化遺産の素晴らしさ、とりわけ、その精神性の高さを利用し、豊かな自然と文化を生かし、日本全国、更に世界中の人々に知られるように頑張ってもらいたい、という気持ちだということだ。

次に言いたいことは商店街の衰えについてである。和歌山市の商店街の衰えといえば、ぶらくり丁である。昔のぶらくり丁は、本当に賑やかで、和歌山のひとつの名所になるほどだったと聞いている。いつから、なぜ人がだんだんと少なくなり、さびしげな様子にな

ったかはよく分からないが、人々は駐車場が少ないのをそのせいに行っているようだ。みんなぶらくり丁に行こうと思っても、車を止めるところがなかったため、ほかのところへ行ってしまったようで、商店街は徐々に人気を失ったわけだ。それはしようがないことだが、驚くほど夜早く店を閉めてしまうため、午後8時ぐらいになると本当に真夜中のようだ。そういうのが不思議に思える。

中国の場合は、昼間は人々は仕事があるので、町の中心などへ遊びに行くわけにはいかないが、夜はストレスを解消するためや、友達ともっと仲よくするため、また、家族連れで美味しいものを食べるために、大勢の人が商店街に出かけて、買い物をしたり、レストランで晩御飯を食べたりして、夜は本当に楽しい。レストランやデパートなどのところも、普通、夜11時から12時まで営業しており、時々広場で、何かの団体の人たちが歌ったり踊ったりしている。みんなそこに集まって無料で見られることもあるし、大きなスクリーンに映し出された映画を市民たちがその場で座って見ることもある。

夜が一番賑やかなはずなのに、なぜ和歌山の住民は夜あまり出かけないのかと思っている。和歌山を太陽に例えると、朝の太陽でもなく、昼の太陽でもなく、午後5、6時に沈んでいる夕日のような感じがする。つまり、活気のない町だ。確かに田舎っぽいが、本当の田舎ではないだろうから、商店街の復興を目指し、和歌山の事情も考え、ほかの町をも参考にして、昔の賑やかさを蘇らせることが必要ではないだろうか。

素晴らしい自然と文化の景観に恵まれている和歌山を観光都市にすると、観光客がきっとたくさん来てくれるだろう。そうなれば、消費を促し経済を活性化することもできるし、また人気をもたらす可能性も高い。



もうひとつの提言がある。道を平たんに、広い道にしてほしいということだ。毎日自転車で学校に通っている私にとっては、本当に自転車道が狭くて、ひやひやしている。でこぼこだったり、勾配があったりして路面の状態の良くないところもある。みんな自分の土地を守りたい気持ちがあるのはわかるが、公共のところに関心を払わないと、結局損になると思う。塵も積もれば山となるだろう。一人一人社会に少しでも関心を持って努力することにより、大きな効果を期待できるのではないだろうか。

最後に、公共交通機関にもっと力を入れてほしい。主にバスのことだ。日本人の生活水準が高く、ほとんどの家庭が車を持っているが、車を買えない人や、運転できないお年寄り達や学生達などのような人は、自転車或いはバイクを利用しなければならない。和歌山に来る前、先輩に「毎日自転車で学校に行くということになるから、大変だよ。覚悟はできてるの。」と聞かれたことがある。中国の若者の場合は、自転車でどこかに行くようにしている人はめったにない。一回乗りは2元（30円ぐらい）でバス代がすごく安いから、みんな気楽にバスを利用している。消費水準が違うといっても、和歌山の場合は、バス代があまりにも高いと思う。中国人の私には、とてもバスに乗れない。乗ったら、親に気の毒だ。なぜバス代がそんなに高いのか？そして、バスの本数も少ない。ガソリンが不足だからといって、家庭用の車の数はなぜこんなに多いのか？同じぐらいガソリンを使って、20から30人収容できるバスの方が良いのか？それとも4、5人しか乗れない車の方が良いのか？もう少し学生とお年寄りに配慮してもらえば嬉しい。バスの値段を下げて、本数を増やして、人々にバスの利用を促せば、ガソリンの節約にもなるのではないか。

提言なので、厳しいことをやたらに書いてしまった。勿論、和歌山はいろいろな良いところがあり、好きである。しかし、もっといい町にするために、たくさんの意見を述べた。もし、合理性や現実性があれば、和歌山の施策に取り入れて考えてほしいと思う。